

「延岡市リサイクル複合施設整備基本計画（案）」への意見募集／意見の概要と本市の考え方

○意見募集期間：令和8年4月7日（火曜）～令和8年4月27日（月曜）

○結果：提出者2人、意見10件

No.	意見の分類	意見の概要	本市の考え方
1	災害対策	高額な設備投資になると思いますので、南海トラフ地震に耐える構造である事。 また津波、浸水にて工場が稼働できないことが無いような設備であって欲しいです。	今後も安定したごみ処理を継続するためには、ご意見いただいたとおり、自然災害に対して十分な安全性を確保することが不可欠であると認識しております。 このため、本計画では、南海トラフ巨大地震などの地震対策について、建築基準法をはじめ各種法令や基準に基づき、「大地震後に構造体の大きな補修をすることなく、建築物を使用できること」などを目標とした耐震性を確保した施設を計画しております。 また、津波・浸水対策についても、現在想定されている浸水深（最大3m）に対して、盛土による嵩上げや建屋の複層化などによる対策を行う計画としております。 今後の基本設計などでの検討においても、防災・減災の観点を重視し、災害時においても施設機能を維持できるよう努めてまいります。
2		工場が災害に耐えたとしても、被災地から施設までの道路が寸断されたら意味が無いので道路などのライフラインの強化も必要ではないでしょうか。	大規模災害時には、道路の陥没、隆起、液状化などの被害が想定されますが、災害廃棄物を含む一般家庭からのごみについては、原則、市が設置する集積場所（災害用臨時ごみステーション、仮置場）やごみステーションに排出いただくこととしていることから、大規模災害時に本施設や清掃工場への直接搬入がある車両は、集積場所からごみの運搬を行う塵芥車やダンプ車などの比較的大型の車両に限定されます。 そのため、令和6年9月に策定した「延岡市一般廃棄物処理施設整備方針」において、学識経験者の見解も受けて検討を行い、発災後に早期に重機等により搬入道路の仮復旧を行い、ライフラインを確保する方針としております。
3	災害廃棄物処理	家庭内一般ごみに加え、災害時には災害ごみも処理できると良いと思います。 以前にボランティア活動参加したのですが、災害ごみの処分先がなくて異臭も発生し環境衛生面でも劣悪な状況になりえる可能性が有ります。 (よろしければ災害協定で他市町村からの受け入れを可能にして頂ければ喜ばれます)	今回の基本計画では、稼働開始時（令和14年）の予想ごみ量に基づいた施設規模となっておりますが、一定規模の災害ごみの処理は可能と考えております。 災害ごみにつきましては、災害の規模（災害ごみの発生量）により対応が異なることとなり、小規模の場合は、運転時間の変更や一時ストックにより新施設での処理を行うこととなります。 大規模災害の場合には、仮置場での処理や他市町村などへの処理委託により処理することとなっております。 また、災害協定につきましては、現在、県内や近隣の市町村と大規模災害時の相互応援協定を締結しており、大規模災害時には協定に基づき、他市町村と速やかに情報伝達を行い、必要な対応を図ってまいります。
4		貴市が掲げる南海トラフ巨大地震などの大規模災害への対応と災害時の一貫した安全確保を実現するために、平時のみならず、災害廃棄物の発生を処理できる機能を持つことが新施設の重要項目と考えます。	

No.	意見の分類	意見の概要	本市の考え方
5	火災対策	今問題になっているリチウムでゴミ集塵車、施設から火災が発生しないような施設であって欲しいです。	ご指摘のとおり、近年、廃棄物処理施設や収集運搬車両において、リチウムイオン電池に起因する火災事故が頻繁に発生しており、本施設においても重要な課題であると認識しております。
6		「7.5 爆発・火災対策」の記載のようにリチウムイオン電池等の混入に起因する火災は、施設の長期間停止を招く大変大きなリスクであり、本計画の最重要課題の一つと考えます。単なる設備の設置有無だけでなく、システム全体の信頼性と即応性が肝要と考えます。	本計画では、リチウムイオン電池による火災対策として、破碎機投入前の手選別（事前選別）や火災検知、消火設備などの導入を計画しております。 また、本施設については性能発注(※)となることから、今後の整備工事実施段階において、システム全体の信頼性や即応性の確保に留意し、適切な対応を講じてまいります。
7	啓発設備	施設内の見学が可能なら、市民のリサイクルに対する意識向上につながると思います。	本施設は、ゴミ処理機能だけではなく、市民の皆様のリサイクルへの意識向上を図り、ごみの分別や減量化の促進を図ることを目的とした啓発設備の導入を計画しております。 ご意見いただきました施設内の見学につきましては、施設の見学可能を前提として、現在実施しているルート内の見学に加えて、動画視聴やリサイクル品のサンプルの展示なども行い、より市民の皆様のリサイクルに対する意識向上につながる取り組みを行ってまいります。
8	貯留・搬出設備	破碎選別後の破碎鉄、破碎アルミを、びん・缶処理と同様に圧縮成型し搬出することで、搬送効率を高め維持管理費の低減（車両燃料費の節約）につながると考えます。	破碎選別後の破碎鉄などにつきましては、現施設の取り引き事例や他施設の状況を考慮し、今回の基本計画では、圧縮成型は行わないこととしております。 また、新たな設備導入は、設備費用や設備の維持管理費用が増加することも考えられますので、今後の設計において、破碎鉄などの取り引き条件や維持管理費用などを確認し、総合的に判断してまいります。
9	太陽光発電	要求水準書において「可能な限りの設置」を求めるのではなく、プラント機器の屋上配置計画や、パネル積載による構造耐力への影響（荷重増）を考慮した適正な規模設定が必要と考えます。 また、過度な設計を避けるため、「〇〇kW以上」等の客観的で現実的な整備目標（下限値）を数値として明確に示していただくことが肝要と考えます。	本施設については性能発注(※)となることから、建物の大きさなどが決定していないため、本計画では太陽光発電の具体的な数値は設けておりませんが、ご意見いただきました「〇〇kW以上」等の太陽光発電の取り扱いについては、今後の基本設計などにおいて検討してまいります。
10	建設予定地	本事業の建設予定地（約5,000㎡）は、想定される建築面積（約2,600㎡）に対し手狭であり、同エリア内に全機能を収めようとすると安全な車両動線の確保が困難となる恐れがあります。つきましては、安全かつ機能的な施設計画を可能とするため、清掃工場敷地内の既存スペースも柔軟に活用できるよう、条件の緩和（配置可能エリアの拡大）のご検討をお願いいたします。	本施設は、旧管理棟や旧清掃工場煙突など、既存施設の一部を解体した跡地に整備する計画としており、現施設を運用しながらの整備となるため、限られたスペースでの整備となっております。（建設予定地の面積として約5,000㎡を想定） ご意見いただきました清掃工場敷地内の既存スペースの活用などについては、安全性などの確保を最優先として、今後の設計において検討してまいります。

※ 性能発注：業務に求められる性能を発注者が定め、その性能に基づいて民間事業者を募集・選定・契約する方式。一般的な公共工事で採用される仕様発注に比べて、民間の創意工夫が発揮しやすい。